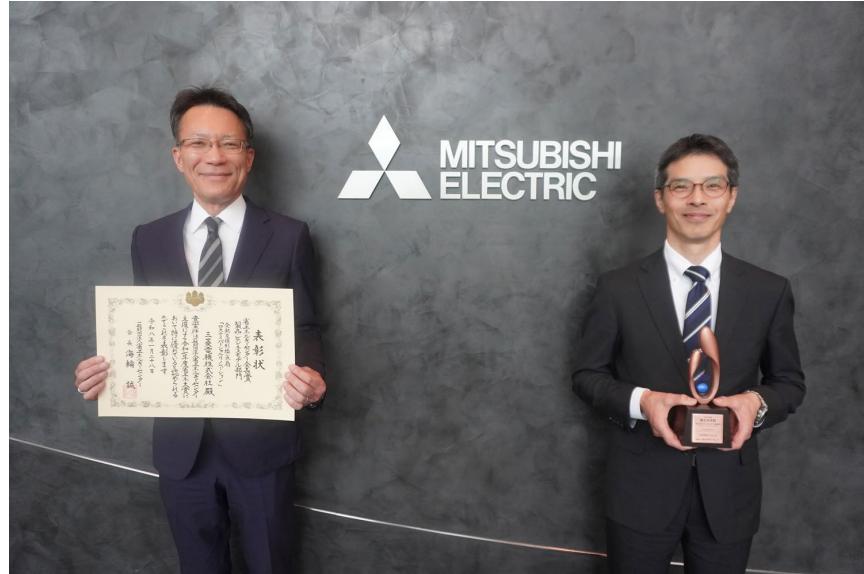


NEWS RELEASE

「2025年度（令和7年度）省エネ大賞」を受賞

全熱交換形換気扇「ロスナイ パーシャルリノベーション」で「省エネルギーセンター会長賞」



三菱電機 リビング・デジタルメディア事業本部 中津川製作所 所長 橋口 正哉（左）、
中津川製作所 換気空調システム製造部 小林 茂己（右）

三菱電機株式会社は、一般財団法人省エネルギーセンターが主催する2025年度（令和7年度）省エネ大賞＜製品・ビジネスモデル部門＞において、全熱交換形換気扇「ロスナイ パーシャルリノベーション」が「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しましたのでお知らせします。なお、表彰式は、本日1月28日（水）に東京ビッグサイトで開催されました。

省エネ大賞は、省エネを推進している事業者および省エネ性に優れた製品を開発した事業者の活動を発表大会で広く共有するとともに、優れた取り組みを行っている事業者を表彰することで、省エネ意識の浸透、省エネ製品の普及促進、省エネ産業の発展および省エネ型社会の構築に寄与することを目的としたものです。

当社の受賞製品は、「HVAC&R JAPAN 2026 第44回冷凍・空調・暖房展」（1月27日（火）～1月30日（金）、於：東京ビッグサイト）に出展しています。

受賞の概要

＜製品・ビジネスモデル部門＞

| 表彰名 | 対象製品名称 | 対象機種(クラス) |
|-------------------|---------------------------------|--------------------------------------|
| 省エネルギーセンター 会長賞 | 全熱交換形換気扇 「ロスナイ パーシャルリノベーション」 | 150～1,000m ³ /h [全7機種] |

受賞製品の省エネ視点

「ロスナイ パーシャルリノベーション」は、当社製全熱交換形換気扇「業務用ロスナイ（天井埋込形機種）」のリニューアル※1に向けて、モーター、ロスナイエレメント、エアフィルター、基板などの更新部品をパッケージ化して販売する製品です。

全熱交換形換気扇は、天井裏に設置されるタイプが多く、本体の取り替えには、天井の解体やダクトの取り外しなどの大規模な工事を伴うため、費用や期間面での課題があります。本製品は、天井の解体やダクトの取り外しなどを行わなく※2 ても、点検口（450mm 角等）から、設置されている製品の筐体をそのままに、製品内部にあるモーター、ロスナイエレメント、エアフィルター、基板などの部品のみを交換できる仕様としたことで、製品全体を取り替えた場合と比較して、施工コストを約 49% 削減※3 します。

また、AC モーターを、高効率な「DC ブラシレスモーター」に交換するなど、高性能な部品にアップグレードすることで、リニューアル前の製品と比べて約 30% の省エネを可能※4 とします。

※1 ロスナイ パーシャルリノベーションの対象は、2008 年～2013 年に販売していた業務用ロスナイ（天井埋込形）（LGH-**RS(X)5(D)）です。形名末尾 D は単相 200V 仕様です。風量 1,500・2,000m³/h 機種はロスナイ パーシャルリノベーションの対象外です

※2 工事工程は現地の状況により異なります。ロスナイ パーシャルリノベーションの実施には必ず現地調査が必要です。現地調査の結果、ロスナイ パーシャルリノベーションを実施できない場合があります

※3 施工コストは DC リプレースマイコン（LGH-RN15RXV2）、ロスナイ パーシャルリノベーション（PGL-P15RX5）それぞれ 1 台を既設品から更新した場合の当社試算値。試算は一例であり、実際の工事条件によっては異なります

※4 空調機 暖房 COP3.6 冷房 COP3.19 を併用。既設製品（LGH-50RX5）の風量、全熱交換効率などの性能は新品時と仮定して算出。また、ロスナイ パーシャルリノベーションの風量、全熱交換効率などの性能は当社で製作した LGH-50RS(X)5 の相当品にこの部材を組込んだ結果から算出し、JIS B 8628 2003 に規定された全熱交換効率時の室内外空気条件における当社試算値

商標関連

「ロスナイ」

「ロスナイ パーシャルリノベーション」

三菱電機株式会社の登録商標

三菱電機グループについて

私たち三菱電機グループは、たゆまぬ技術革新と限りない創造力により、活力とゆとりある社会の実現に貢献します。社会・環境を豊かにしながら事業を発展させる「トレード・オン」の活動を加速させ、サステナビリティを実現します。また、デジタル基盤「Serendie®」を活用し、お客様から得られたデータをデジタル空間に集約・分析するとともに、グループ内が強くつながり知恵を出し合うことで、新たな価値を生み出し社会課題の解決に貢献する「循環型 デジタル・エンジニアリング」を推進しています。1921 年の創業以来、100 年を超える歴史を有し、社会システム、エネルギー・システム、防衛・宇宙システム、FA システム、自動車機器、ビルシステム、空調・家電、デジタルイノベーション、半導体・デバイスといった事業を展開しています。世界に 200 以上のグループ会社と約 15 万人の従業員を擁し、2024 年度の連結売上高は 5 兆 5,217 億円でした。詳細は、www.MitsubishiElectric.co.jp をご覧ください。

お問い合わせ先

＜報道関係からのお問い合わせ先＞

三菱電機株式会社 広報部

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号

TEL 03-3218-2332

<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/contact.html>

＜お客様からのお問い合わせ先＞

三菱電機株式会社 中津川製作所 営業部 冷熱営業課

〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町 1 番 3 号

TEL 0573-66-8217